



じむきょく ざいだんはうじん きょうかい とうきょううとみなどくかなわ
発行者：ユニセフ子どもネット事務局 財団法人 日本ユニセフ協会 広報室 〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
でんわ：03-5789-2016 ファックス：03-5789-2036 電子メール：jcuinfo@unicef.or.jp

財団法人 日本ユニセフ協会

ユニセフ TOPICS トピックス!

6月19日ワールド・サッカー・デー

たの せかい
すべての子どもたちがサッカーを楽しめる世界にしよう

2001年11月、ユニセフと国際サッカー連盟(FIFA)は、子どもたちのために世界的なパートナーシップを結び、2002FIFAワールドカップTM期間中の6月19日を、「子どものためのワールド・サッカー・デー」と決めました。

日本では、東京の国立競技場を中心に全国の10都市でJリーグの選手などが参加して、子どものためのサッカーイベントがひらかされました。子どもたちはサッカーを楽しむ一方、「子どもを差別しない」「すべての子どもに教育を」「子どもたちを戦争からを守ろう」など、「子どものための10の約束」を子どもたちがアピールするセレモニーもおこなわれました。

世界では、アフガニスタン、バングラデシュ、中国、韓国、チエコ、モザンビーク、パナマ、ポーランド、シエラレオネ、ソマリア、南アフリカ、アメリカ合衆国など多くの国々にで子どもたちが南アフリカ、アメリカ合衆国など多くの国々にで子どもたちがサッカーを楽しむイベントがひらかれました。

アグネス・チャンさん カンボジアを訪問

人身売買から子どもを守りたい まも



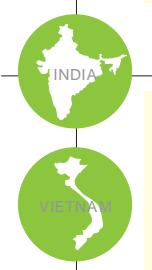
©日本ユニセフ協会 /

なん ぶ くに しょくりょう き き アフリカ南部の国ぐにに食糧危機

アフリカ南部の6カ国（ジンバブエ、マラウイ、ザンビア、モザンビーク、レソト、スワジランド）では、干ばつや悪天候のために農作物の収穫がへり、たいへんな食糧難が予想されています。食糧を保管しておく施設がじゅうぶんではなく、2年続いた悪天候のため、貯蔵されていた食糧も底をついています。この地域では、すでに770万人が飢餓の危機にさらされており、その数は来年の3月までに1280万人にまで増えると考えられています。ユニセフをはじめ、さまざまな国連機関などが支援をはじめていますが、食糧を支援するだけではなく、栄養、飲み水・衛生状態をよくすること、荒れてしまった農業をふたたび復活させることなど、さまざまな支援が必要とされています。

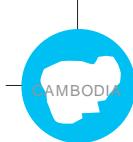


©UNICEF/HQ02-
0297/Giacomo
Birozzi



こうずいなやしょこく 洪水に悩まされるアジア諸国

今年の夏、ヨーロッパで起こった洪水が注目を集め一方、アジア諸国でも洪水の被害が広がりました。インド、バングラデシュ、ネパールのヒマラヤ山脈のふもとに広がる地域でおこった洪水では、900人近くが亡くなり、250万エーカーものトウモロコシ畑が流されました。この3カ国では6月にモンスーンの雨がふりはじめてから、何度も被害がおこっています。また、中国でも大きな洪水の被害が報告されています。ベトナムでは、南部のメコン川のデルタ地域で非常に危険なレベルにまで水位があがり、3年連続の大きな洪水が予想されています。ユニセフは、洪水が予想されている地域で、避難や安全のための資料をくばついたり、水上診療所をつくる支援をしたりしています。



「子どもたちを守りたい」と報告会でうたった声

- ユニセフトピックス 1
 - 子どもたちの声が届いた！「国連子ども特別総会」に世界の子どもたちが参加 2-3
 - 地図で見る世界の子どもたち 「HIV/エイズを知っていますか？」 4-5
 - ユニセフではらくこと...！ ~子どもネットワーカー記者 ユニセフスタッフにインタビュー~ 6-7
 - REPORT&INFORMATION 報告とお知らせ 8